

佐久市人権同和教育推進協議会次第

日時：令和元年12月23日(火)
午後2時30分～
場所：佐久市保健センター

【 委嘱書交付式 】

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 自己紹介

4 会長・副会長の選出

5 協議事項

(1) 令和元年度 人権同和教育・啓発事業の中間報告について

(2) その他

① 人権・男女共生フェスティバルについて

6 閉 会

佐久市人権同和教育推進協議会委員

任期：令和元年11月1日から令和3年10月31日まで

	ふりがな 名前	所 属 等	備 考
1	こばやし みつお 小林 光男	佐久市社会福祉協議会会長	
2	えもと まもる 江本 守	佐久市区長会副会長	
3	やなぎさわ ゆうこ 柳澤 優子	佐久市公民館運営審議会委員	
4	こじま ひでふみ 小嶋 秀文	佐久市中央公民館館長	
5	やなぎさわ ひろし 柳澤 博	小中学校長代表（岸野小学校校長）	
6	なかがわ みつひで 中川 満英	小中学校長代表（浅科中学校校長）	
7	きたざわ きよし 北澤 潔	高等学校長代表（野沢北高等学校校長）	
8	やまうら れいいち 山浦 励一	部落解放同盟佐久市協議会会長	
9	ひらばやし あきら 平林 晃	佐久市民生児童委員協議会副会長	
10	しもだいら まさかつ 下平 匡克	佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会会長	
11	つちや れいこ 土屋 礼子	佐久市男女共生ネットワーク会員	
12	よしざわ たかし 吉澤 隆	佐久人権擁護委員協議会委員	
13	あらい あきら 新井 晃	佐久市PTA連合会副会長	
14	なかざわ いさお 中澤 功	佐久市社会教育委員長	
15	きうち かずあき 木内 和昭	佐久市少年センター育成推進協議会会長	
16	こだいら たかし 小平 隆	佐久商工会議所事務局長	
17	いで せいいち 井出 清一	佐久市老人クラブ連合会副会長	
18	かつやま そんしょう 勝山 尊生	「同和問題」にとりくむ佐久地区宗教者連絡会議理事	
19	かなもり てるお 金森 輝雄	佐久市人権同和教育推進員代表	

令和元年度 人権同和課 人権同和教育事業実績

1 就学前における人権同和教育

事業名	事業内容	実施場所	実施期間	対象	参加者 (人)
(1) 就学前人権同和教育研修会	①各保育所での保護者参観日等に学習会を開催し、人権に対する知識と理解を深める。	各保育所	年間計画に基づき実施	保護者・保育士	

2 学校における人権同和教育

事業名	事業内容	実施場所	実施期間	対象	参加者 (人)
(1) 学校人権同和教育推進事業	ア 学校教育計画の中に人権同和教育を明確に位置づけ、人権同和教育推進のため学事職員会を通じ各学校に委託料を支出し研修会等を実施。	各小・中学校	年間計画に基づき実施	小・中学校教職員	
(2) 人権同和教育研究委員会事業	ア 各学校との連携を保ち推進体制の強化を図る。 イ 地域及び児童・生徒の実態に即した人権同和教育の推進のあり方について研究。 ウ 学事職員会を通じ各学校に委託料を支出し、人権同和教育研究事業等を実施し実践資料等を作成。	学事職員会	年間	小・中学校教職員	
(3) 補助教材配本事業	ア 小学1・3・5年生、中学1年生の人権同和教育を充実するため、学習教材として副読本「あけぼの」を配布。	各小・中学校	5月	児童、生徒、教職員	24校 3,762冊
(4) 教職員人権同和教育研修会事業	ア 人権同和教育の充実を図るために、学校教職員を対象に研修会を実施。 演題「人権は、人々の営みそのもの」～子どもたちが学ぶ部落の歴史とさまざまな人権課題～ 講師 東御市教育委員会 人権同和教育推進員 岡澤 健一 氏 イ 人権同和教育の実践発表 ・東小学校 比田井 隆久 先生 ・望月中学校 花里 佐知子 先生 平澤 智宏 先生	交流文化館浅科 穂の香ホール	8月6日	小・中学校、高校教職員	139人
(5) 新任・転入教職員人権同和教育研修会事業	ア 人権同和教育の充実を図るため、新任・転入学校教職員を対象に研修会を実施。 演題「人権同和教育は全ての教科で活動で」 講師 佐久市社会教育指導員 清水 彰 氏	佐久市役所 8階 大会議室	5月14日 5月23日	小・中学校、高校教職員 (新任・転入)	135人
(6) PTA人権同和教育研修会事業	ア PTAで人権同和教育の研修会を実施 イ 各小中学校での保護者参観日等に講演会や研修会を実施。	各小・中学校	年間計画に基づき実施	児童、生徒、保護者、職員	

(7) 人権同和少年 教育促進事業	ア 解放子ども会（教科学習、解放学習） 望月解放子ども会 会員26名 （小学生20名・中学生6名） （指導員、小中学校教諭）	望月人権文化センター	週1回	解放子ども会会員等	
	イ 野外学習 （野外調理・レクリエーション）	望月少年自然の家	8月9日	解放子ども会会員等	27人
	ウ いのちの駅伝 （望月地区内を駅伝し、メッセージを小・中・高校、市長、小中校長会理事長へ直接届ける。 後日、市内全小中学校へメッセージを伝達）	望月地区	10月19日	解放子ども会会員、望月小・中・高校、指導委員等	台風19号の影響により中止

3 地域における人権同和教育

事業名	事業内容	実施場所	実施期間	対象	参加者 (人)
(1) 巡回研修事業	ア 市内各区へ人権同和学习会の開催を文書で依頼。 イ 人権同和教育推進員22名により各区での人権学習、研修、懇談会を実施。 ウ 機会人権同和教育研修会の実施。	主に各地区の公会場等で開催	随時	地区市民、施設職員等	
(2) 人権同和教育講座	ア 同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決に向け、市民の正しい理解と認識を育むために実施。 （浅間、野沢、望月地区）	浅間地区 （佐久平交流センター）	8.22から 9.5まで （3回）	地区市民	69人
		野沢地区 （野沢会館）	9.12から 9.26まで （3回）	地区市民	82人
		望月地区 （駒の里ふれあいセンター）	10.3から 10.17まで （3回）	地区市民	43人
(3) 一般啓発事業	ア 公民館報「さくし」に「人権シリーズ」を掲載 11回 イ 視聴覚教材（人権啓発DVD等166本）の利用呼びかけ ウ 各種大会への参加、呼びかけ等 エ 人権啓発資料の提供		随時	市民	
(4) 人権同和教育学級事業	ア 同和地区住民を対象に各支部単位で実施。「部落差別の現状と解放運動をめぐる情勢について」	各集会所	随時	支部住民	6支部人
(5) 集会所研修事業	ア 同和地区住民を対象に各支部単位で実施。 （生け花、舞踊、料理、手芸、生活改善等学習）	各集会所	随時	支部住民	

(6) 人権・男女共 生フェスティ バル	ア 市民を対象に人権意識の高揚を図り、人権尊重と男女共生のまちづくりを目指して実施。 ・隣保館作品展示とステージ発表 ・男女共生朗読劇 ・人権啓発標語優秀賞受賞者表彰 演題「夢と絆」 講師 新潟産業大学経済学部准教授 蓮池 薫 氏	あいとぴあ白 田	1月26日	市民	
-------------------------------	---	-------------	-------	----	--

4 企業における人権同和教育

事業名	事業内容	実施場所	実施期間	対象	参加者 (人)
(1) 企業人権同和 教育推進事業	ア 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会の総会及び研修会を実施。 演題「人材育成に必要な働き方改革」 講師 オフィスキャリアサポート 古越 真佐子 氏	佐久市役所 8階 大会議室	6月5日	会員企業	34人
	イ 小学5年生から165点の人権啓発標語を募集。優秀賞受賞作品（3点）短冊ポスターを作成。会員企業、小・中学校、公共施設等に配布。 ウ 優秀作品3点の作者を、人権・男女共生フェスティバル内で表彰を実施。 全作品をフェスティバルパンフレットに掲載。		標語募集 8月	小学5年生	17校 165人
	エ 佐久市企業人権同和教育推進連絡協議会主催 企業人権教育研修会を実施。 演題「笑顔あふれる職場環境を目指して」 講師 長野県東信教育事務所 指導主事 園部 勇一郎 氏	佐久市役所 南棟3階会議 室	2月6日	会員企業 等	
	オ 佐久市職員人権同和教育研修会を実施（総務課主催）。 演題「未定」 講師 長野県東信教育事務所 指導主事 園部 勇一郎 氏	佐久市役所 8階 大会議室	1月31日 (3回開 催)	市職員	

令和元年度 佐久市教職員人権同和教育研修会 開催報告

- 1 開催日時 令和元年8月6日(火) 午後1時30分から4時00分
- 2 場 所 交流文化館浅科 穂の香ホール
- 3 参加者 市内公私立小中高等学校教職員、学校給食センター職員139名(H30, 142名)
(小学校90名、中学校43名、高校1名、給食職員等5名)
(当初申込者153名 当日欠席者17名 当日出席者3名)
- 4 実践発表 東小学校 比田井 隆久 先生
望月中学校 花里 佐知子 先生
平澤 智宏 先生
高橋 まり子 望月中CS運営委員
- 5 講 演 演題「人権は、人々の営みそのもの」
～子どもたちが学ぶ部落の歴史とさまざまな人権課題～
講師 東御市教育委員会人権同和教育推進員 岡澤 健一 氏

6 参加者アンケートについて ※ () 内数字 前年度

(1) アンケート回答数 89 (98) 名 回答率 64.0 (69.0) %

(2) 年代別

20代	30代	40代	50代	60代	無回答
17 (18)%	8 (5)%	19 (22)%	40 (46)%	4 (7)%	3 (2)%

(3) 開催時期、日程等について

夏休みのこの時期 (8月上旬頃)	夏休み最初の時期 (7月下旬頃)	夏休み終わりの時期 (8月中旬頃)	他の時期	無回答
46 (31) [52 (32)%]	32 (59)名 [36 (60)%]	1 (0) 名 [1 (0)%]	7 (7) 名 [8 (7)%]	3 (1)名 [3 (1)%]

・回答者89(98)名のうち、49(31)名[52(32%)]が、夏休みのこの時期(8月上旬頃)が良いと回答。63(75)名[71(77)%]が午後の日程を希望。

(4) 実践発表について

- ・2校の具体的な取り組みを学び、改めて人権を大切にする気持ちを私自身も大切にそして子ども達にも感じられるようにしたいと思いました。地区が違うと中々どのようなことをしているのか分からないので、知ることが出来、勉強になりました。(20代・女性)
- ・望月地域の長い間続けられてきた活動に感動しました。人権ということ、いじめを通じて1人1人考えていくことでとても心の成長につながるなどと思いました。(30代・男性)
- ・各校の実践について具体的に話していただき大変勉強になりました。特に望月中のいのちの駅伝については深く考えさせられました。(50代・男性)

(5) 講演について

- ・ただ差別の現状を語るのではなく、歴史から根源を語っていただいたので、なぜ差別が実在しているのか知ることができた。理にかなった興味深い内容だった。歴史上のあやまちや、差別が、令和の時代にまで残っていることは信じられなかった。現実を知った。(20代・男性)
- ・差別についての歴史で知らないことが多くあった。”つくられた差別”について正しく理解していかないといけないことが多くあることが分かった。(30代・男性)
- ・歴史に学ぶことの大切さを改めて感じました。初めて知ることたくさんあり、研修を通して自分の感覚を磨いていかなくてはならないと思いました。「個人の責任」を強く要求されるこの頃、どのような考えに基づいて行動するか自問が必要であると感じ、学校関係者としての在り方も問われると思いました。(40代・女性)
- ・差別の歴史を学ぶ大切さ、深く考えることの大切さを学びました。改めてもう一度学びなおしたいと思いました。ありがとうございました。(50代・男性)
- ・人権同和教育は教員として知らなければいけない内容が多くあるわりにはそれぞれの知識に差があるような気がします。その差を埋めるための取組が必要です。(50代・男性)
- ・自由に休みが取れる時期の研修で同和問題(部落差別)についてよく知らずに育ってきている若い先生たちにはぜひ、積極的に研修に参加してほしいなあとと思いました。(50代・女性)
- ・正直、人権同和研修会か…と乗り気がしなかったのですが、今回の内容は充実していて、参加して良かったと思いました。ありがとうございました。「差別・いじめ」許ません愚かな行為です。(50代・女性)

令和元年度 佐久市新任・転入教職員人権同和教育研修会 開催報告

- 1 開催日時 第1回目 令和元年5月14日(火) 午後3時30分から4時50分
第2回目 令和元年5月23日(木) 午後3時30分から4時50分
- 2 場 所 佐久市役所 南棟 3階会議室
- 3 参集範囲 市内公私立小中学校、高等学校の新任及び転入教職員(再転入含む)
- 4 講 師 社会教育指導員 清水 彰 (5月14・23日 両日とも)
演題「人権同和教育は全ての教科で、活動で」
- 5 参加者 135 (63・72) 人 ※ 合計数字 (5/14の人数・5/23の人数)
【小学校80 (39・41)、中学校40 (17・23)、高校15 (7・8)】
【新任40 (9・31) 人、転入95 (54・41) 人】
【教員114 (50・64) 人、職員21 (13・8) 人】

6 参加者アンケートについて

- (1) アンケート回答数 126 (56・70) 件 回答率 93.3 (88.9・97.2) %
- (2) 意見・感想・要望等(抜粋) ※ 件数 (5/14の人数・5/23の人数)・斜体5/23の記述

年代・回答数	意見・感想・要望(抜粋)
20代 <u>41</u> (8・33)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての人権感覚のみがき方や、佐久市のこれまでの人権教育の歴史、佐久市の差別の実態についてさらに知りたいです。(男性) ・(「いのちの駅伝」について)佐久市の中で唯一の解放子ども会がこれほど大切な活動をしていることは知らなかった。部落差別の問題に関しても、私自身が目をそむけずに向かい合っていきたい。(女性)
30代 <u>27</u> (14・13)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚チェック表の項目を見て、気づかないうちに子供の人権を否定することや、傷つけていることがないか、日々の生活を振り返ってみようと思いました。(女性) ・部落差別に関する正しい情報、歴史を知る学ぶ必要があると感じました。日常の中で目にする物や出来事について、ただ受け入れるだけでなく、いろいろな視点で見たり考えたりすることが人権感覚を磨いていくことにつながっていくと思いました。(男性)
40代 <u>20</u> (11・9)	<ul style="list-style-type: none"> ・望月地区での取り組み、感動しました。具体的な同和教育の授業についても情報として聞かせていただくと有り難い。(女性) ・人権といっても、同和問題だけではないということを再認識した。同和問題についてはしばらく扱わない学校にいたので、しっかり勉強しなおしたい。(男性)
50代 <u>29</u> (16・13)	<ul style="list-style-type: none"> ・部落差別に関わるネット上の書き込みには憤りを感じている。子ども達も目にする可能性のあるこれらの者に対し、私たちにはなにができるか、改めて考え合っていきたい。(男性) ・理論より感性を大切にしていくこと、人権感覚を磨くこと。忘れかけている自分に刺激となりました。(女性)
60代 <u>7</u> (5・2)	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市の現状を取り扱いながら、差別の根本になる、人権感覚に触れたお話であったと思います。心して指導に当たっていきたいと思います。(男性) ・教師でないのでとてもいい勉強になりました。ちょっとした日常の中でも先生方は、(人権感覚チェックの)こんなことを考えながら子どもたちを見ていたんだなど分かりました。(女性)

- ◇ 「いのちの駅伝」や「教職員の人権感覚」等に関心を寄せる記述が多かった。また、どの年代にあっても、同和教育の大切さを実感したとする回答が多かった。
- ◇ 本年度の実施について、開催時期(75, 4%が良い)や日程(71, 4%が良い)等概ね、肯定的な回答であったが、開始時間については、学校の授業の関係から30分程度遅くして欲しいといった意見もみられた。また、夏期休業など子ども達の授業に支障がない時期の開催を望む声も見られた(14名が回答)。

作品番号	標語	氏名	組
(岩村田小学校)			
1	やさしさは みんなと分け合う ものだよね	内堀 史也	1組
2	あなたから ポツリと言われた ありがとう	荻原 真子	1組
3	やめようよ 命をうばう その言葉	篠澤 乃菜	1組
4	ありがとう その一言が ぎゅっとくる	中澤 彩羽	1組
5	無視したり 仲間に入れない それはだめ	柳澤 俊希	1組
6	やさしさは 心をつなぐ にじのかけ橋	昆 由斗	2組
7	やめようよ その一言が 大きな一歩	内藤 翼	2組
8	大丈夫 仲間がいるよ ほらそこに	山田 真咲	2組
9	やさしさを みんなに届けて 公平に	竹内 真琴	2組
10	ありがとう それは魔法の 言葉だよ	土屋 葵	2組
11	助けよう ひとりの人を なくすため	新井 玲奈	3組
12	特別な 個性を持って 生きている	井出 葵	3組
13	あの子には 味方について 助けるよ	中澤 景士	3組
14	無理なこと あってもいいよ 人はちがう	青松 大洋	3組
15	あなたのさ 味方はいるよ ぜったいに	みつ石 愛理	3組
(佐久平浅間小学校)			
16	ぼくたちは 笑顔の魔法で 笑うんだ	井上 智博	1組
17	君が泣く それを最後に したいんだ	原田 葵	1組
18	いやなこと ためすぎないで きくからさ	飯森 透乃	1組
19	いじめ〇へ 君がやめなきゃ 終わらない	斉木 温彦	1組
20	こまっても 友だちがいる わたしには	桐山 櫻	1組
21	㊦ 仲良くする。 ㊧ 会話を増やす。 ㊨ い言葉づかい。 ㊩ クラスで協力	太田 琴美	2組
22	笑顔だけど いじめを受けて 気持ちはどう？	木内 美来	2組
23	悪口は 一生残る いやな言葉	江口 真美	2組
24	いじめして 悪い気分は 自分にも	横田 颯人	2組
25	こんにちは 勇気を出して 他人でも	地主 充希	2組
26	友だちと 仲良く楽しく すごそうね	須江 峻太郎	3組
27	やっちゃうと ずっとつづくよ そのいじめ	小林 咲穂	3組
28	いじめはね だれのためでも ないんだよ	出地 琉琉	3組
29	その口を いじめや差別に 使わない	杉村 陸	3組
30	方言は 言葉に付けた アクセサリー	野村 叶真	3組
31	考えよう してもいいこと 悪いこと	清 優太	4組
32	やめてみよう 悪口がげ口 冷たい言葉	森田 真央	4組
33	やめましょう 人種差別 ゼロの道	島津 志弥	4組
34	「大丈夫」 その一言で 救われる	塚田 望来	4組
35	肌の色 ちがっていても 人は人	高橋 響月	4組

令和元年度

人権啓発標語応募全作品

作品番号	標 語	氏 名	組
(中佐都小学校)			
36	なかまはずれ 人が悲しむ こうどうだ	茂木 結衣	東組
37	やめようよ だれかが行くと 消える話	中里 梓佐	東組
38	悪口は 仲良くなれない 原因だ	小林 隼士	東組
39	悪口は みんなの心を きずつける	青木 爽	東組
40	やめておこう 相手の気持ちを 考えて	小林 夏瑠	東組
41	「やめときな」 そんな言葉が 言えたらな	溝口 侑真	西組
42	いじめした そしたら心に あなあいた	松沢 悠太	西組
43	いたくない だれもいたくない むねがいたい	山崎 幸之助	西組
44	やめようよ 悲しい大人に なっちゃうよ	關 樟太	西組
45	わる口が 人の命を うばいとる	角田 真人	西組
(高瀬小学校)			
46	自分から さそえばきつと 皆笑顔	浅沼 悠斗	東組
47	あいさつで 笑顔をつくる その勇氣	野村 葉里	東組
48	いつだって 笑顔をつなぐ 人と人と	濱 香蓮	東組
49	人は人 自分は自分 大丈夫	柳澤 悠花	東組
50	思いやり みんなの笑顔 うれしいな	依田 朋樹	東組
(野沢小学校)			
51	みんなちがってみんないい ぼくらは同じ人間だ	石川 倅大	1組
52	助けること 助けられること みんなのやさしさに 世界が変わる	城山 かりん 花鈴	1組
53	1人1人の優しさで 笑顔の花を さかせるよ	市川 琉璃	1組
54	その差別 自分がやられて うれしいの	茂原 昇大	1組
55	作ろうよ いじめのない すてきな世界	上原 綺斗	1組
56	みんなのえがお いつも思う やさしさを	大釜 彩葉	2組
57	その言葉 あなたは明日 わすれても 相手は一生 わすれない	鷹浦 達真	2組
58	なくそうよ いじめるなんて やめようよ	田中 心愛	2組
59	忘れるな 1人じゃないよ みんないる	松本 実桜	2組
60	相手の心 考えて	山崎 花	2組
61	つながろう すべての国の 人々と	菊池 もも花	3組
62	いじめはね 人の心を きずつける	荻原 楓	3組
63	考えて 無視された子の 心の声を	嶋田 早甫	3組
64	病気でも その人は 病と戦う 強い人	林 菜々子	3組
65	君のやさしさに 救われる人がいる	三井 あかり	3組

作品番号	標語	氏名	組
(泉小学校)			
66	つらい時 だまらずみんなに 言ってみよう	岩館 陽	1組
67	友達に 笑顔をとどける ありがとう	市川 くるみ	1組
68	自分がさ やられてやな事 人にしない	武田 怜也	1組
69	つらいひと 助けてあげよう なかまだよ	竹内 蒼翔	1組
70	見直して あなたの言葉が きょうきかも	磯部 ひより	1組
71	いじめはね あなたの心を くるくする	菊池 ひなの	2組
72	「かんけない」 本当にそれでいいのかな	新津 結	2組
73	考えよう 自分の気持ちと相手の気持ち	高見澤 康成	2組
74	みないふり あなたもいじめの仲間入り	日向 香乃夏	2組
75	やめようね 自分がされて いやなこと	荻原 詩音	2組
(岸野小学校)			
76	あいさつで まいにちきつと かわるはず	江村 蒼一郎	松組
77	あの人が 泣いてるすがた 見たくない	藤巻 大和	松組
78	あいさつは 人の気持ちを 変えられる	重田 天希	松組
79	しあわせは なかまとともに つくるもの	木内 美桜	松組
80	あいさつは 自分も君も 気持ちいい	林 もみじ	松組
(中込小学校)			
81	ありがとう その一言で 和みます	小林 結奈	松組
82	あやまって 認めてみれば 仲直り	小林 琉正	松組
83	見ないふり したらあなたも いじめっこ	大工原 果伶	松組
84	ひとりでは けんかもできない 弱い人	町田 凌	松組
85	それぞれに 個性があるだけ 同じ人	山口 紗瑛	松組
86	いじめをなくす 力をみんな もっている	土屋 凜旺	竹組
87	助けよう あなたが持つてる 優しさで	丸山 花穂子	竹組
88	それぞれの 個性をみんなで 認め合おう	原田 優花	竹組
89	伝わるよ 勇気をしばって 声を出そう	清水 爽太	竹組
90	本当の 友だちならば いじめなし	堀内 涼平	竹組
(佐久城山小学校)			
91	どう思う? 知らないふりをする自分	佐藤 碧月	1組
92	やさしい心 みんなが持っている 宝物	岡部 豊弘	1組
93	個人差は 自分にしかない宝物 幸せへの第一歩	荻原 真凜	1組
94	人はみんなちがう だから それぞれ思いやる	小林 さわ	1組
95	君の幸せ 必ずだれかが願ってる	増野 瑞希	1組
96	自分と友だちくらべなくていいよ それがきみの個性だから	大井 琉世	2組
97	人権は 生きるための パスポート	相沢 陸斗	2組
98	みんなで守ろう 一人の人権	水澤 真緒	2組
99	あなたは いじめを 見ただけ? 一人の命を大切に	小林 聖那	2組
100	知らない同士でも 人間という仲間	駒村 ひより	2組

作品番号	標語	氏名	組
(平根小学校)			
101	広げよう 一人ぼっちから 笑顔の輪	みつし 美羽	1組
102	あいさつは みんなをつなぐ 合言葉	もいづみ 月奈	1組
103	その言葉 言ってもいいの 考えて	わたなべ 琴羽	1組
104	かげ口は 聞こえなくても 悪い事	こいで 美結	1組
105	かげ口も いじめと同じ きずつける	うめざわ 暖乃	1組
106	やさしさ 安全 守る手で	かんぐち 翔久	2組
107	一言で 悲しいことも あるんだよ	たかほし 未紗	2組
108	いじめだめ なかよくなるう 助け合おう	はしもと 始頼	2組
109	見てるだけ? ちゃんと止めてね イジメを	もろかわ 翼	2組
110	見かけたら 勇気を出して とめてみよう	つちや 悠登	2組
(東小学校)			
111	「大丈夫?」 その声がけが 思いやり	いもり 飯森 さくら	1組
112	「ありがとう」 「ごめん」の気持ち 忘れずに	たまよせ 玉寄 沙月	1組
113	「おはよう」と 声をかけると 笑顔になる	みやした 宮下 桃花	1組
114	あいさつは 人と人とを むすぶ糸	やまぐち 山口 ひな乃	1組
115	誰とでも あったか言葉で つながろう	いなもと 稲本 聖士	1組
116	大丈夫! みんなあなたの 味方です	およびき 及木 理紗	2組
117	聞いてみて あなたの助け 求めている	もい井 桃井 西蘭	2組
118	大丈夫? 仲間を救う いい言葉	なかわら 中村 心美	2組
119	「ごめんね」は なかよくなれる まほうの言葉	ちば 千葉 愛徠	2組
120	見ないふり ずっとそれで いいのかな	なかざわ 仲澤 慶太	2組
(田口小学校)			
121	なくそうよ いじめ暴力 暴言を	すえひろ 末廣 ことね	1組
122	いじめの芽 あなたの勇気で ひっこぬけ	わしお 鷺尾 ゆら愛	1組
123	その一言 いじめを止める 原動力	しばた 柴田 たかのり 恭徳	1組
124	悪口は あなたの勇気で 消えていく	まるやま 丸山 しんぺい 瞬平	1組
125	見のがさない いじめをとめる その勇気	すえ 須江 そうた 奏太	1組
126	悪口は 相手にとって 言葉のやいば	こばやし 小林 かなみ 奏心	2組
127	気づかずに 友だち いじめているかもよ	かんもと 関本 まこと 真啓	2組
128	友だちを 1人にしない 声かける	おおつか 大塚 こうすけ 康介	2組
129	やらないよ いじめや差別 ぜったいに	いちかわ 市川 もと基 元基	2組
130	一人一人 仲間のことを 考えよう	まえだ 前田 ななみ 菜々美	2組
(青沼小学校)			
131	自分にかえってくるよ そのいじめ	しのはら 篠原 みお 美音	1組
132	悪口は 人の心を きずつける	しのはら 篠原 ゆう 優	1組
133	やな思い させたらごめんと 言わなきゃね	たかほし 高橋 てんくう 迪空	1組
134	みんなとね いっしょになかよく あそぼうね	たぐち 田口 たくと 拓音	1組
135	しないでね いじめわるぐち いやなこと	わたなべ 渡辺 ゆい 唯	1組

人権啓発標語応募全作品

作品番号	標語	氏名	組
(切原小学校)			
136	みんなで仲良く遊ぼうよ 一人じゃさみしいよ	佐藤 初華	1組
137	相手の気持ち考えて いじわるされたら悲しいよ	井出 華	1組
138	やめようよ 自分が言われたらうれしい？ 泣いている人を見るのは楽しい？	柳川 志歩	1組
139	ケンカがないよう フワフワ言葉で話し合おう	新海 佑果	1組
140	一人じゃない 相談しよう だれでもね	沖浦 梨花	1組
(臼田小学校)			
141	ふやそうよ やさしさと笑顔 世界中に	井出 有翔	1組
142	「ありがとう」で みんなをつなごう 心の輪	井出 雄人	1組
143	ほんの少しの 勇気から みんなの笑顔が うまれるよ	瀬川 煌稀	1組
144	一人ひとりが いじめや差別を やめようよ	西澤 桜星	1組
145	あいさつは みんなの心の 救いの手	山崎 咲智	1組
(浅科小学校)			
146	個性は みんなちがって みんないい	山浦 音	1組
147	いじめは 自分の心も きずつける	臼田 ひなた	1組
148	一人なんていない みんなを大切に 生きていこう	清水 大翔	1組
149	あいさつが もどってくると うれしいね	市川 直寛	1組
150	ありがとう その一言で 笑う君	赤須 貫太	1組
151	暗い朝 あいさつすると かがやき出す	金井 凜	2組
152	関係ない だからといって 見すてない	土屋 結人	2組
153	いじめはね 自分もみんなも きずつける	櫻井 優衣	2組
154	いじめるな いじめたらもう もどれない	倉見 俊哉	2組
155	考えて 相手の心と 自分の心	町田 光優	2組
(望月小学校)			
156	分かり合おう みんなのことと 自分のこと	川井 稟生	1組
157	一声かければ きっとその声が 力になる	菅我 桂奈	1組
158	だいじょうぶ みんないっしょに 守るから	牧野 ころろ	1組
159	みとめ合う 気持ちでなくそう いじめと差別	福井 董也	1組
160	友達の 悪口よりも いい所さがし	笠原 彩水	1組
161	きずつけば 心のきずは 戻れない	高塚 真羽	2組
162	みとめよう 人それぞれの 好きなこと	松本 結衣	2組
163	かんがえて 自分がいわれて どう思う	依田 杏珠	2組
164	その言葉 自分にとってはあたり前 相手にとっては涙の言葉	小泉 紗来	2組
165	黒人だから？ どうしてさべつ されちゃうの？	大森 咲歩	2組

佐久市人権同和教育推進協議会要綱

平成17年4月1日教育委員会告示第11号

改正 平成20年3月28日教委告示第7号

(設置)

第1条 佐久市人権同和教育基本方針に基づき、人権同和教育の振興と推進を図り、差別のない明るい社会づくりのため、佐久市人権同和教育推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(任務)

第2条 協議会は、目的達成のため、次の事項について調査及び研究し、事業を推進する。

- (1) 人権同和教育の総合的推進に関すること。
- (2) 人権同和教育の連絡調整に関すること。
- (3) 人権同和教育の研修・啓発に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、人権同和教育を推進するために必要な事項

(組織)

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げるもののうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 教育機関及びその関係団体の代表者
- (2) 行政機関及びその関係団体の代表者
- (3) 識見を有する者

(任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長1人及び副会長1人を置き、それぞれ委員の互選により選出する。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長がその議長となる。

(事務局)

第7条 協議会の事務局は、市民健康部人権同和課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月28日教委告示第7号)

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。